

平成23年度

事務事業評価表(平成22年度の実績評価)

記入年月日
平成 23 年 3 月 31 日

事務事業名		やまと幼稚園運営事業						区分		事務事業No.	31631003
								<input type="checkbox"/> 分野別主要事業		課内No.	3
政策 体 系	政策体系上の位置付け		<input type="checkbox"/> 未来プロジェクト事業						事務事業主管課		
	行政評価施策名	10	子育て支援の促進	<input type="checkbox"/> 市長マニフェスト事業		所属部		教育委員会			
	政策名	3	豊かな心と生きがいを育む教育・文化環境づくり	<input type="checkbox"/> 合併建設計画事業		所属課		やまと坂戸幼稚園		31	
	施策名	1	学校教育の充実	<input type="checkbox"/> 新規事業		<input checked="" type="checkbox"/> 継続事業		課長名		勝田 正則	
基本事業名		6	幼児教育の充実	<input checked="" type="checkbox"/> 単独事業		<input type="checkbox"/> 補助事業		所属係			
		財務会計上の位置付け						事業期間		担当者名	
予算科目	会計	款	項	目	事業	一般会計		<input type="checkbox"/> 単年度のみ			
	1	10	4	1	3	やまと幼稚園事業		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し (昭和49 年度 ~)			
法令根拠								<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(年度 ~ 年度)			

【Do】1. 事務事業の現状把握

期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入

事務事業の概要(事務事業の内容、担当者が行う業務の内容、手順、事業費の内訳等。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事務事業の内容】

市内に在住する4歳から5歳の幼児を土日・祝祭日を除く平日にお預かりして、8時15分~15時まで幼児教育を実践します。具体的には、健康、人間関係、環境、言葉、表現の5つの領域について学びます。

【担当者が行う業務の手順】

幼稚園教育要領に基づき、幼児期にふさわしい環境の中で、遊びを通して自主性や創造性を育て、義務教育及びその後の教育の基礎を培う。

【事業費の内訳】

報償費(講師謝礼、記念品代)、備品費、需用費等が使われている。

(1) 事務事業の目的

①手段(22年度 実際に行った主な活動)	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	単位
幼稚園教育要領に基づき教育課程を編成し、授業週数を作成し、幼児と共に遊び、職員会議で振り返り、研修に参加するなどの幼児教育を実践した。	ア 登園日数	日
②対象(誰、何を対象にしているのか)	イ 教育週数	週
園児	ウ 教育時間	時間
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	エ	
個々の幼児に応じた教育領域を身に付ける。	⑥対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位
④結果(どんな結果に結び付けるのか)	ア 就園児数	人
円滑な園の運営をする。	イ	
	ウ	
	⑦成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	単位
	ア	
	イ	
	ウ	
	⑧上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	単位
	ア	
	イ	

(2) 指標値の推移

区分	単位	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	28年度
		(実績)	(実績)	(実績)	(計画)	(計画)	(計画)	(目標)
⑤活動指標	ア 日	194	195	200	200	200	200	200
	イ 週	38	40	40	40	40	40	40
	ウ 時間	1,222	1,228	1,228	1,228	1,228	1,228	1,228
	エ							
⑥対象指標	ア 人	124	114	105	95	90	90	85
	イ							
	ウ							
⑦成果指標	ア	100	100	100	100	100	100	100
	イ							
	ウ							
⑧上位成果指標	ア							
	イ							

(3) 投入量(事業費)の推移

事業費	財源内訳	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	28年度	期間限定 総投入量
		国庫支出金	千円						
	県支出金								
	地方債								
	使用料・手数料								
	その他								
	一般財源	千円	2,984	5,769	6,186	2,814	3,000	3,000	3,000
	事業費計 (A)	千円	2,984	5,769	6,186	2,814	3,000	3,000	0
人件費	正規職員従事人数	人	7	7	6	6	6	6	
	延べ業務時間	時間	1,968	1,968	1,968	1,968	1,968	1,968	1,968
	人件費計 (B)	千円	6,189	6,189	6,390	6,390	6,390	6,390	6,390
	トータルコスト(A)+(B)	千円	9,173	11,958	12,576	9,204	9,390	9,390	9,390

(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？

昭和47年に坂戸幼稚園、昭和49年にやまと幼稚園、昭和53年にまかべ幼稚園が設立され、合併後も引き続き実施している。

(5) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？

市民からは、幼児の教育について理解を得ている。

事務事業名	やまと幼稚園運営事業	事務事業No.	31631003	所属課	やまと坂戸幼稚園
-------	------------	---------	----------	-----	----------

【See】 2. 評価の部 * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

評価項目					
目的妥当性	① 政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?)				
	個々の児童に応じた教育領域を身に付けています。				<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている
	② 公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?)				
	義務教育ではないが、公立幼稚園の使命は国が目指す児童教育に最も近い立場で取り組むことができる。				<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である
有効性	③ 対象・意図の妥当性 (対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?)				
	対象・意図とも現状で適切である。				<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である
	④ 成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?)				
	当該年度の成果は100%達成できたので、成果の向上余地はない。				<input type="checkbox"/> 向上余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない
効率性	⑤ 廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?)				
	幼稚園は義務教育ではないので、児童教育の一貫性が損なわれる。				<input type="checkbox"/> 影響無 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性がありますか? (市以外の取り組みも含む))				
	他に手段がある <input type="checkbox"/> →	具体的な手段、事務事業名	<input type="checkbox"/> 統廃合ができる		
他に手段がない <input checked="" type="checkbox"/>	幼稚園・保育所との連携の動きがあるが、条例・施設等の関係により、今すぐには連携できない。	<input type="checkbox"/> 連携ができる			
公平性	⑦ 事業費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など))				
	事業費は、報酬、賃金、報償費、需用費などで、削減の余地はない。				<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 (やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? 成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか?)				
	教育課程の編成、遊びを通じての児童教育の実践、職員会議での振り返り、研修会への参加など削減の余地はない。				<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない
⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか?)					
入園料、授業料、給食費を徴収しており、応分の負担をいただいている。					<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																					
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																						
(3) 今後の事業の方向性			(4) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)																			
終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input type="checkbox"/> 改革改善を行う → 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 → <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																				
(3)-1 改革改善策			<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> 	成果	コスト			削減	維持	増加	向上				維持				低下			
成果	コスト																					
	削減	維持	増加																			
向上																						
維持																						
低下																						
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																						

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)		
課長確認後の評価 A: 継続(現状維持) B: 継続(改革改善を行う)	C: 終了、廃止、休止 D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/> 未	
(3) 2次評価における改革改善案		(4) 2次評価における指摘事項	